

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2023年11月10日
【四半期会計期間】	第86期第2四半期(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
【会社名】	石原ケミカル株式会社
【英訳名】	ISHIHARA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 酒 井 保 幸
【本店の所在の場所】	神戸市兵庫区西柳原町 5 番26号
【電話番号】	078 - 681 - 4801(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼総務部長 山 口 恭 正
【最寄りの連絡場所】	神戸市兵庫区西柳原町 5 番26号
【電話番号】	078 - 681 - 4801(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼総務部長 山 口 恭 正
【縦覧に供する場所】	石原ケミカル株式会社 東京支店  (東京都台東区台東二丁目26番11号)  株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第85期 第2四半期 連結累計期間	第86期 第2四半期 連結累計期間	第85期
会計期間	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日
売上高 (千円)	10,369,254	10,035,614	20,345,090
経常利益 (千円)	1,363,704	1,152,248	2,258,558
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	944,035	903,740	1,684,857
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	829,397	911,670	1,561,761
純資産 (千円)	21,588,198	22,229,351	21,900,003
総資産 (千円)	26,485,285	27,125,926	26,505,082
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	61.63	60.36	110.32
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	81.5	81.9	82.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	577,361	507,545	947,418
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	52,815	132,039	716,590
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	754,943	604,666	1,184,925
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,374,098	5,006,349	4,962,638

回次	第85期 第2四半期 連結会計期間	第86期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2022年7月1日 至 2022年9月30日	自 2023年7月1日 至 2023年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	28.24	37.21

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いておりますが、物価上昇や海外経済の減速による影響により、先行きは不透明であります。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値製品の開発に取り組み、国内及び海外における営業活動により市場拡大に努めてまいりましたが、半導体市場における生産調整の影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,035百万円（前年同期比3.2%減）、旅費・減価償却費・運賃など販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益1,062百万円（前年同期比15.6%減）、経常利益1,152百万円（前年同期比15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益903百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりであります。

#### < 金属表面処理剤及び機器等 >

金属表面処理剤については、前年度の第3四半期以降、ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ及び巣ごもり需要の終息などが個人消費へのマイナス要素となり、パソコン、スマートフォン、液晶テレビなどの最終製品に影響を及ぼし、これを受け、電子部品業界においては、減産、生産調整局面となりました。

また、化成処理液自動管理装置等については、スマートフォンやパソコン関連を中心に半導体需要が減少し、生産調整の影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、4,868百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は、535百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

#### < 電 子 材 料 >

機能材料加工品は、半導体市況が低迷し、半導体製造装置向けセラミックス及びエンブラの売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、328百万円（前年同期比24.9%減）、営業利益は、16百万円（前年同期比44.9%減）となりました。

#### < 自動車用化学製品等 >

エアコン洗浄剤及びコーティング剤は、取組カーディーラーの拡大を図ったことにより前年を上回りました。また、原材料価格の高騰を受け、カーディーラー向け製品とコンパウンド等の補修用製品について値上げを実施いたしました。一方で、中国における日系カーディーラー向け製品の販売が前年を大きく下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、1,895百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は、551百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

#### < 工 業 薬 品 >

工業薬品は、鉄鋼需要の回復が遅れる中、既存商品の価格上昇とシェア拡大に加え、新規商材の拡販により前年を大きく上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、2,942百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は、115百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

当四半期連結会計期間の末日における流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ588百万円増加し14,191百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加354百万円、電子記録債権の増加233百万円等によるものであります。固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し12,933百万円となりました。主な増減は、有形固定資産の増加240百万円、投資有価証券の減少212百万円等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ291百万円増加し4,896百万円、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加し22,229百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、5,006百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増減(は減少)は、税金等調整前四半期純利益1,283百万円、減価償却費240百万円、売上債権の増減額 582百万円、法人税等の支払額 352百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは507百万円(前年同四半期577百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増減(は減少)は、定期預金の払戻による収入980百万円、定期預金の預入による支出 750百万円、有価証券の取得による支出 100百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは132百万円(前年同四半期52百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増減(は減少)は、自己株式の取得による支出 338百万円、配当金の支払額 256百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは 604百万円(前年同四半期 754百万円)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は565百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,300,000
計	31,300,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2023年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2023年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	16,308,280	16,308,280	東京証券取引所 (プライム市場)	単元株式数は、100株 であります。
計	16,308,280	16,308,280		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2023年9月30日		16,308,280		1,980,874		2,254,875

## (5) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	2023年9月30日現在 発行済株式(自己株式を 除く。)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
石原ケミカル取引先持株会	神戸市兵庫区西柳原町5 - 2 6	1,216	8.14
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1ST FLOOR, SENATOR HOUSE, 85 QUEEN VICTORIA STREET, LONDON, EC4V 4AB (東京都中央区日本橋3丁目11 - 1)	877	5.87
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL (常任代理人 シティバンク、 エヌ・エイ東京支店)	CITIGROUP CENTRE, CANADA SQUARE, CANARY WHARF, LONDON E14 5LB (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	771	5.16
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	758	5.08
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	698	4.67
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1 - 2	693	4.64
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8 - 1 2	559	3.74
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	446	2.98
大阪中小企業投資育成株式会社	大阪市北区中之島3丁目3番23号	419	2.80
株式会社池田泉州銀行	大阪市北区茶屋町18 - 1 4	320	2.14
計		6,759	45.28

(注) 2023年9月25日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、S M B C日興証券株式会社及びその共同保有者である株式会社三井住友銀行が2023年9月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、上記の表中に記載の株式会社三井住友銀行を除き、当社として2023年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
S M B C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内3丁目3番1号	234	1.44
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	693	4.25
計	-	927	5.69

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2023年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,381,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,921,500	149,215	
単元未満株式	普通株式 4,980		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	16,308,280		
総株主の議決権		149,215	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式18株が含まれております。

## 【自己株式等】

2023年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 石原ケミカル株式会社	神戸市兵庫区西柳原町5-26	1,381,800		1,381,800	8.47
計		1,381,800		1,381,800	8.47

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2023年7月1日から2023年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,927,981	5,736,695
受取手形及び売掛金	4,433,512	4,787,777
電子記録債権	647,016	880,295
有価証券		100,220
商品及び製品	1,046,653	1,051,688
仕掛品	225,338	258,370
原材料及び貯蔵品	1,139,127	1,276,442
その他	183,401	100,500
流動資産合計	13,603,030	14,191,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,126,265	3,046,372
その他（純額）	2,373,531	2,693,836
有形固定資産合計	5,499,797	5,740,209
無形固定資産	70,993	64,944
投資その他の資産		
投資有価証券	6,273,988	6,061,065
その他	1,062,522	1,072,965
貸倒引当金	5,250	5,250
投資その他の資産合計	7,331,260	7,128,780
固定資産合計	12,902,051	12,933,934
資産合計	26,505,082	27,125,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,951,955	1,980,425
電子記録債務	907,889	938,843
未払法人税等	387,643	407,206
賞与引当金	223,286	233,745
役員賞与引当金	18,600	19,800
その他	436,502	639,605
流動負債合計	3,925,876	4,219,624
固定負債		
退職給付に係る負債	50,737	51,451
資産除去債務	68,143	68,445
その他	560,321	557,053
固定負債合計	679,202	676,950
負債合計	4,605,079	4,896,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2023年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980,874	1,980,874
資本剰余金	2,294,566	2,297,678
利益剰余金	18,356,554	19,003,024
自己株式	1,362,765	1,690,928
株主資本合計	21,269,230	21,590,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630,153	629,386
為替換算調整勘定	619	9,316
その他の包括利益累計額合計	630,772	638,702
純資産合計	21,900,003	22,229,351
負債純資産合計	26,505,082	27,125,926

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,369,254	10,035,614
売上原価	7,041,930	6,832,761
売上総利益	3,327,324	3,202,852
販売費及び一般管理費	2,068,139	2,139,860
営業利益	1,259,184	1,062,991
営業外収益		
受取利息	7,520	3,688
受取配当金	23,993	23,153
為替差益	44,319	32,495
保険返戻金	843	
その他	30,863	32,307
営業外収益合計	107,540	91,645
営業外費用		
支払利息	707	412
自己株式取得費用	1,054	846
賃貸費用	1,020	1,020
その他	238	109
営業外費用合計	3,020	2,388
経常利益	1,363,704	1,152,248
特別利益		
投資有価証券売却益	4,245	131,492
特別利益合計	4,245	131,492
特別損失		
固定資産除却損	2,727	230
特別損失合計	2,727	230
税金等調整前四半期純利益	1,365,221	1,283,510
法人税等	421,186	379,769
四半期純利益	944,035	903,740
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	944,035	903,740

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	944,035	903,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,104	766
為替換算調整勘定	16,466	8,696
その他の包括利益合計	114,637	7,929
四半期包括利益	829,397	911,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	829,397	911,670
非支配株主に係る四半期包括利益		

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,365,221	1,283,510
減価償却費	268,106	240,452
株式報酬費用	2,600	5,999
賞与引当金の増減額( は減少)	8,382	10,459
役員賞与引当金の増減額( は減少)	24,550	1,200
退職給付引当金の増減額( は減少)	1,242	714
受取利息及び受取配当金	31,987	27,393
支払利息	707	412
有価証券及び投資有価証券売却損益( は益)	4,245	131,404
為替差損益( は益)	4,430	2,594
保険解約損益( は益)	843	
固定資産除却損	1,031	0
売上債権の増減額( は増加)	580,009	582,118
棚卸資産の増減額( は増加)	449,697	169,888
仕入債務の増減額( は減少)	525,242	51,245
その他の流動資産の増減額( は増加)	50,746	79,896
その他の流動負債の増減額( は減少)	51,569	46,037
その他の固定資産の増減額( は増加)	39,654	16,525
その他の固定負債の増減額( は減少)	1,357	250
小計	936,155	823,303
利息及び配当金の受取額	31,783	27,042
利息の支払額	707	412
法人税等の支払額	390,110	352,869
法人税等の還付額	240	10,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,361	507,545
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	41,400	750,346
定期預金の払戻による収入	60,000	980,343
有価証券の取得による支出	100,558	100,676
有価証券の売却及び償還による収入	308,460	342,120
有形固定資産の取得による支出	236,503	301,189
無形固定資産の取得による支出	7,822	13,981
保険積立金の積立による支出	23,593	24,228
保険積立金の解約による収入	94,233	
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,815	132,039

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2,254	2,376
自己株式の取得による支出	527,130	338,648
配当金の支払額	219,225	256,819
その他	6,332	6,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	754,943	604,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,244	8,792
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	105,521	43,710
現金及び現金同等物の期首残高	4,479,620	4,962,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,374,098	5,006,349

## 【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
研究開発費	538,660千円	565,248千円
報酬給与手当及び賞与	460,792千円	474,733千円
運賃及び荷造費	219,154千円	223,128千円
賞与引当金繰入額	114,349千円	122,268千円
退職給付費用	22,265千円	25,894千円
役員賞与引当金繰入額	13,950千円	19,800千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)
現金及び預金勘定	5,405,757千円	5,736,695千円
預入期間が 3 ヶ月を超える 定期預金	1,031,659千円	730,346千円
現金及び現金同等物	4,374,098千円	5,006,349千円

## (株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年 6 月28日 定時株主総会	普通株式	219,329	14.00	2022年 3 月31日	2022年 6 月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年10月31日 取締役会	普通株式	259,292	17.00	2022年 9 月30日	2022年12月 1 日	利益剰余金

当第 2 四半期連結累計期間(自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年 6 月28日 定時株主総会	普通株式	257,270	17.00	2023年 3 月31日	2023年 6 月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年10月31日 取締役会	普通株式	268,676	18.00	2023年 9 月30日	2023年12月 1 日	利益剰余金



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属表面処 理剤及び機 器等	電子材料	自動車用 化学製品等	工業薬品			
売上高							
外部顧客への売上高	5,447,918	437,996	1,898,919	2,584,419	10,369,254		10,369,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	5,447,918	437,996	1,898,919	2,584,419	10,369,254		10,369,254
セグメント利益又は損失 ( )	693,799	30,590	626,255	89,147	1,439,794	180,609	1,259,184

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 180,609千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属表面処 理剤及び機 器等	電子材料	自動車用 化学製品等	工業薬品			
売上高							
外部顧客への売上高	4,868,819	328,833	1,895,852	2,942,109	10,035,614		10,035,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	4,868,819	328,833	1,895,852	2,942,109	10,035,614		10,035,614
セグメント利益又は損失 ( )	535,248	16,842	551,996	115,202	1,219,288	156,297	1,062,991

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 156,297千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	金属表面処理 剤及び機器等	電子材料	自動車用 化学製品等	工業薬品	
日本	1,495,698	382,111	1,728,473	2,514,368	6,120,652
台湾	1,615,907	2,450	176	886	1,619,419
中国	912,569	204	141,700		1,054,474
その他	1,423,743	53,229	28,569	69,165	1,574,708
顧客との契約から生じる収益	5,447,918	437,996	1,898,919	2,584,419	10,369,254
その他の収益					
外部顧客への売上高	5,447,918	437,996	1,898,919	2,584,419	10,369,254

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	金属表面処理 剤及び機器等	電子材料	自動車用 化学製品等	工業薬品	
日本	1,364,655	289,357	1,828,495	2,921,765	6,404,274
台湾	1,139,835		219	8,727	1,148,782
中国	1,028,163	721	29,986		1,058,871
その他	1,336,164	38,755	37,150	11,616	1,423,685
顧客との契約から生じる収益	4,868,819	328,833	1,895,852	2,942,109	10,035,614
その他の収益					
外部顧客への売上高	4,868,819	328,833	1,895,852	2,942,109	10,035,614

( 1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)
1 株当たり四半期純利益	61円63銭	60円36銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	944,035千円	903,740千円
普通株主に帰属しない金額	千円	千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益	944,035千円	903,740千円
普通株式の期中平均株式数	15,318千株	14,973千株

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2023年10月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しました。

1．自己株式の消却を行う理由

株主還元の充実を図るとともに、資本効率の向上を図るため。

2．自己株式の消却の内容

- |                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| (1)消却する株式の種類   | 当社普通株式                            |
| (2)消却する株式の総数   | 334,600株(消却前の発行済株式総数に対する割合 2.05%) |
| (3)消却予定日       | 2023年11月17日                       |
| (4)消却後の発行済株式総数 | 15,973,680株                       |

2 【その他】

2023年10月31日開催の取締役会において、第86期の中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金総額 268,676千円

1 株当たりの額 18円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2023年12月 1 日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年11月9日

石原ケミカル株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

神戸事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 千 原 徹 也

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 村 上 育 史

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている石原ケミカル株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2023年7月1日から2023年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、石原ケミカル株式会社及び連結子会社の2023年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公

正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) １．上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
２．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。